

32分
E129-1

<解説編>

～なぜ音読が必要なのか～

なぜ音読をするのか、どんな効果があるのかといった音読指導の背景にあるものを詳しく解説し、実践にあたって重要となる基本的な指導順序などについて紹介。

- ◎音読指導の目的
- ◎オーバーラッピング
(パラレルリーディング)の目的
- ◎シャドーイングの目的
- ◎音読指導の問題点
- ◎音読指導の留意点(安木 2010)
- ◎ポーズの役割
- ◎音読中心の授業で受験に対応できるか
- ◎音読指導の指導順序
- ◎基本的な音読指導の例
- ◎音読の指導順序と実際
- ◎音読の評価
- ◎参考文献



音読指導の 目的

- ① 文字を見て瞬時に意味が分かる力をつける
- ② 学習した単語、熟語や構文、英文、内容を取り込む
- ③ 口答で伝達する力をつける
- ④ 内容理解の補助
- ⑤ 記憶効率の向上

音読指導の効果は様々な研究で分かってきており、音読中心の授業で受験に充分対応できることも明らかになっています。このDVDでは、英語力をつける音読指導とシャドーイング指導についての理論を解説し、各段階で使える厳選された**指導法48個をワークショップ形式で実施**。現在実施されている音読指導における色々な問題点も明確にし、指導する上での留意点について詳しく解説しています。

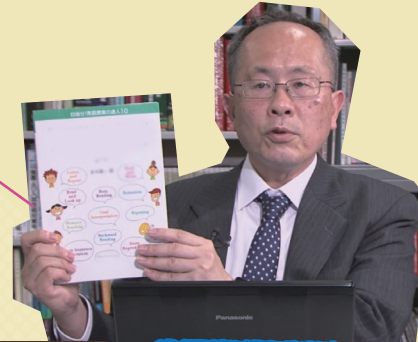
音読指導は、**指導の順序を考えて実施することが重要**です。

基本的な指導順序は、**記憶が不要なものから必要なものへ、音声モデルのあるものからないものへ、練習単位は短い単位から長い単位へ**と進めていきます。このDVDでもこの指導順序に沿ってそれぞれの活動を紹介していきますので大変理解し易くなっています。ここで取り上げた各段階で使える指導法を基本としながら、音読指導後の発展活動の方法や評価の方法についても触れているので、これらを組み合わせて実施したり、独自の新しい指導法に発展させていくことも可能です。

現職教員の自己研修や、教職を目指す大学生の皆さんに是非活用していただきたい内容となっています！

授業・解説 安木 真一
(京都外国語大学 キャリア英語科 教授)

撮影協力 京都外国語大学



E129-S 全2巻セット 12,000 円+税
分売不可・送料別



音読で音声、
文字、意味を
合わせる！

英語力が
ぐんぐん身につく
音読指導の
決定版！

英語力がメキメキUP!↗ 48の音読・ シャドーイング

間違えて
いませんか？
音読の指導順序

京都外国語大学
大学院
理論&実践英語
指導法シリーズ

108分
E129-2

<実践編> ～効果的音読指導の実際～

音読の指導順序の各段階に対応する様々な活動、適時入れていくシャドーイングの方法、音読活動を発展させた形、さらに評価の方法について紹介している。

■活動の目的～ウォームアップ/ Listen to today's part

■第1段階(単語から文レベルの音読)

1 イチゴ読み

■第2段階(句から文章レベルの音読)

2,3 リスアンドリビート(基本形/音声確認型)

4,5 オーバーラッピング

6 バックワード・リーディング

■第3段階(自分で音声化する音読)

7 バズ・リーディング

8,9,10 通訳練習

11 一人で通訳練習

12 ネイティブびったし音読

13,14 高速リーディング

15 四方読み

16 ウォーキング音読

17 つっこみ音読

18 おっかけリーディング

19 一文ずつ読み

20 輪読

21 リレー音読

■適時入れていくシャドーイングの方法

22 マンブリング

23 プロソディー・フレーズ・シャドーイング

24 プロソディー・センテンス・シャドーイング

25 プロソディー・パッセージ・シャドーイング

26 コンテンツ・シャドーイング

27 ペア・シャドーイング

■第4段階(本文の記憶を確認する音読)

28,29,30,31 クローズ音読

(基本形/品詞抜き/重要語抜き/EJ READING)

32 鉛筆置き音読

33 逆さま音読

■第5段階(英文を頭の中に入れる音読)

34,35 リードアンドルックアップ

(基本形/ペア確認型)

36 37 リピーティング(リテンション)

38 メモリー・リーディング

39 列ごと発表音読

40 前消しリピーティング

■音読活動を発展させた形

◎第1段階の発展活動

41 閉本でのQ A

42 閉本でのサマリー作成

43 ストーリー・リプロダクション

44 パラパラ

◎第2段階の発展活動

45 スキット作成

■音読の評価

46 音読テスト

47 シャドーイングテスト

48 かるた方式

■おわりに

